

食品健康影響評価の依頼があった遺伝子組換え植物の概要

コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ
B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 の概要

項目	概要
品種	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ <i>B.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7</i>
申請者	デュポン株式会社
開発者	Dow AgroScience LLC (米国) Pioneer Hi-Bred International, Inc. (米国)
製品の概要	とうもろこしに、 <i>Bt (cry34Ab1</i> 及び <i>cry35Ab1)</i> 遺伝子を導入することにより、 <i>Bt (Cry34Ab1</i> 及び <i>Cry35Ab1)</i> タンパク質が発現し、コウチュウ目害虫 (コーンルートワーム) に抵抗性をもつ。さらに <i>pat</i> 遺伝子を導入することにより、phosphinothricin acetyltransferase (PAT) タンパク質が発現し、除草剤 (グルホシネート) に耐性をもつ。
宿主	デント種のとうもろこし (<i>Zea mays</i> L.)
挿入遺伝子 (供与体)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Bt (cry34Ab1</i> 及び <i>cry35Ab1)</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> PS149B1 株由来) ・ <i>pat</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces viridochromogenes</i> 由来)
選択マーカー (供与体)	—
新たに獲得された性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ コウチュウ目害虫 (コーンルートワーム) 抵抗性 ・ 除草剤 (グルホシネート) 耐性
可食部分に発現する遺伝子産物と発現量	穀粒中の乾燥重量 1g あたり <i>Cry34Ab1</i> タンパク質 : 49.7 μ g <i>Cry35Ab1</i> タンパク質 : 0.99 μ g PAT タンパク質 : 測定下限値未満 (< 0.06 ng)